



亀中だより

No. 12 令和5年6月2日 文責 岡田



For The Students!

微力だけど、無力じゃない!! ~SDGsは知識じゃない!。いかに実践するかだ~



3年生の修学旅行では、淡路島で SDGs 研修を行いました。講師はパソナグループで“農”を通じた持続可能な社会の実現を目指して立ち上げられた代表取締役の金子大輔さん(写真)をはじめとする「株式会社タネノチカラ」のみなさんでした。

3年生のみなさんは、修学旅行の事前学習として SDGs を学んでいます。さて、1,2年生のみなさんは SDGs って何か知っていますか。持続可能な開発目標:SDGs (Sustainable Development Goals) とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

もう少しわかりやすくいうと、だれもがこのまま地球に住み続けるためには、今の暮らし方を変える必要があります、その具体的な取り組み内容を示したもので、2030年までに世界を変えようとするものです。

17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。SDGs は発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。



(株)タネノチカラ代表 金子大輔さんの講義

金子さんたちは、日本の農業と食を取り巻く問題に焦点を当て活動を開始されました。石油由来の農薬や化学肥料の問題などから、日本の農業をいかに持続可能にしていくか、そんな取り組みを講義と体験活動から学ばせていただきました。

中でも印象的だったのは、冒頭の私たちは「微力だけど、無力じゃない」という言葉です。SDGsは知識じゃない。いかに実践するかだという言葉とともに、3年生のみんなの心にも響いたことと思います。

5月24日の生徒集会では、全校生徒にもこの言葉を紹介させていただきました。いつまでも住み続けることのできる地球を守っていく主体者として、一人ひとりの“微力”を積み重ねていきましょう。